

# 令和 7年度予算見積調書

課室名: 高校教育指導課  
 担当名: 教育課程・産業教育・キャリア教  
 内線: 6762 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P40	課題を抱える生徒のための学習支援プラン		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容充実費	
事業期間	令和元年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0501 確かな学力と自立する力の育成	SDGsターゲット	4-1, 4-3, 4-7
1 事業の概要 基礎学力や言語に課題を抱えた高校生を対象として、外部教育力を活用し、義務教育段階の学習内容の学び直しや日本語指導、学校生活への適応指導を行うことにより、生徒一人一人が安心して学習できる環境を整備する。 ア 学習支援 16,113千円 イ 日本語支援 43,803千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 学習支援 16,113千円 基礎学力に課題を抱える生徒が多く在籍する高校に学習サポーターを配置する。 イ 日本語支援 43,803千円 日本語指導が必要な生徒が多く在籍する高校に日本語支援員を配置するとともに、母語支援員の派遣等による支援を行う。 (2) 事業計画 学習サポーターの配置により基礎学力の定着及び学び直しの徹底を図るとともに、日本語支援員の配置等により言語に起因する生徒の問題の解決を図る。 (3) 事業効果 社会で生きていくために必要となる学力の習得や言語に起因する問題の解決を図り、近年増加している外国人児童生徒に対して支援体制を整備することで就職、進学等に繋げる。 【活動指標(アウトプット)】学習サポーターの配置45校、日本語支援員の配置50校 【成果指標(アウトカム)】意欲が向上した学習支援を受けた生徒の割合75% 意欲が向上した日本語支援を受けた生徒の割合75% (4) その他【前年度からの変更点】 ア 学習サポーターの配置日数見直しによる減 イ 日本語支援員の配置数見直しによる増					
2 事業主体及び負担区分 (一部国1/3・県2/3)								
3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (区分)高等学校費 (細目)教職員経費 (細目)教職員経費 (積算内容)補習等のための指導員等派遣事業								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	59,916	国庫支出金	16,163				43,753	△5,185
前年額	65,101		17,010				48,091	

## 事業内訳書

事業名	課題を抱える生徒のための学習支援プラン		
単位事業名	学習支援	予算額	16,113千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 教育総務費補助金	3,132	△1,080	教育支援体制整備事業費補助金 補助率 1/3
一般財源	12,981	△4,338	
合計	16,113	△5,418	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	16,060	△5,400	学習サポーター 報償費 58日×45校
役務費	53	△18	学習サポーター 傷害保険料 45校
合計	16,113	△5,418	

単位事業名	日本語支援	予算額	43,803千円
-------	-------	-----	----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 教育総務費補助金	13,031	233	教育支援体制整備事業費補助金 補助率 1/3
一般財源	30,772	0	
合計	43,803	233	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	43,438	751	日本語支援員(全日制)35日×32人 日本語支援員(定時制)90日×20人 母語支援員派遣謝金 50校×5回
需用費	250	△190	日本語支援教材費 50校
役務費	115	△328	日本語支援員 傷害保険料 52人×1日
合計	43,803	233	